

精神疾患のある本人もその家族も生きやすい社会へ —親と子の立場から考える—

子ども全体の 15～23%いると言われている精神疾患の親をもつ子ども・若者。他の子どもと比べて自身の罹患率が 2.5 倍高いと言われることもあります。現状日本において支援は空白領域です。精神疾患に対する偏見、家族主義の強さ、子ども自身が置かれている状況の自覚・言語化が難しい等により、多くの当事者が見えない存在となっています。

NPO 法人 CoCoTELI はそんな空白領域において、精神疾患の親をもつ子ども・若者支援の土壌づくりにチャレンジしています。CoCoTELI がいう「精神疾患のある親をもつ子ども・若者支援の充実」は、「精神疾患のある方が安心して子どもを望み・育てることができる社会」にもつながるのではないのでしょうか？

本アドボカシーカフェでは、精神疾患の親をもつ子どもだけでなく、精神疾患のある本人とともにクロストークを通して、精神疾患のある本人もその家族も生きやすい社会について考えます。

■ゲスト： 山田悠平さん



一般社団法人 精神障害当事者会ポルケ代表理事。近年では、国立精神・神経医療研究センターとの「精神障害×防災」をテーマにした当事者主導型研究の実施、アンチスティグマの取り組みとしてメディアガイドライン制作の働きかけなど、「共同創造」をモットーに精神障害のある当事者の立場から、当事者の場づくりや理解啓発活動、政策提言に取り組んでいる。

山縣勇斗さん

* 基調講演



2000 年生まれ。NPO 法人 CoCoTELI 理事。大学 1 年次に母親が精神疾患を患い、父親もアルコール依存症気味である家庭環境の中で情緒的ケアなどを経験。大学 3 年次に CoCoTELI と出会い、2023 年から CoCoTELI でも活動している。

平井登威さん

* 基調講演



2001 年 8 月静岡県浜松市生まれ、関西大学 4 年生 (休学中)。精神疾患の親をもつ 25 歳以下の支援を行う NPO 法人 CoCoTELI 代表。幼稚園年長時に父親がうつ病になり、虐待や情緒的ケアを経験したことから CoCoTELI での活動を開始。精神疾患の親をもつ子ども・若者支援の土壌をつくるために日々奮闘中。

■ 日時：2024 年 6 月 26 日 (水) 13:30～16:00

■ 会場：オンライン開催

※オンライン会議システム・Zoom を使用。スマホや PC 等のインターネット端末から参加いただけます。参加方法の詳細は、お申込みくださった方に開催前日までにメールいたします。聞かだけの参加も可能ですが、この対話の場を一緒につくれるよう、お声を出していただけたら幸いです。参加者さまのお顔は写らないよう初めはこちらで設定しますが、ご発言の際は自主的にお顔を写していただけます。

■ 参加費：無料

※先着 50 名様。申込の締め切りは 24 年 6 月 24 日または定員に達した時点の早い方。

■ 主催：NPO 法人まちぼと ソーシャル・ジャスティス基金 <https://socialjustice.jp/> メール info@socialjustice.jp

■ お申込みページ：<https://socialjustice.jp/20240626.html> ※事前にご登録ください。